

羽田第1ゾーンスマートシティ(羽田第1ゾーンスマートシティ推進協議会)

■都市課題

テストベッドとしてのスマートシティ形成による「持続可能都市おた」の実現

生産人口減少、担い手不足に対応した利便性や生産性の確保

■解決策

都市空間マネジメント高度化に向けた空間情報活用

AR技術及び空間情報を活用した新たな施設管理手法の実装に向けた、ツールの高度化及びエリアや業務の横展開

- ①情報集約・通知機能の構築による施設管理業務の高度化・効率化
- ②大田区内へのソリューション横展開による社会課題の解決

■KPI

中目標

ロボティクス: 80%

業務効率化率: 現状比20%減

小目標

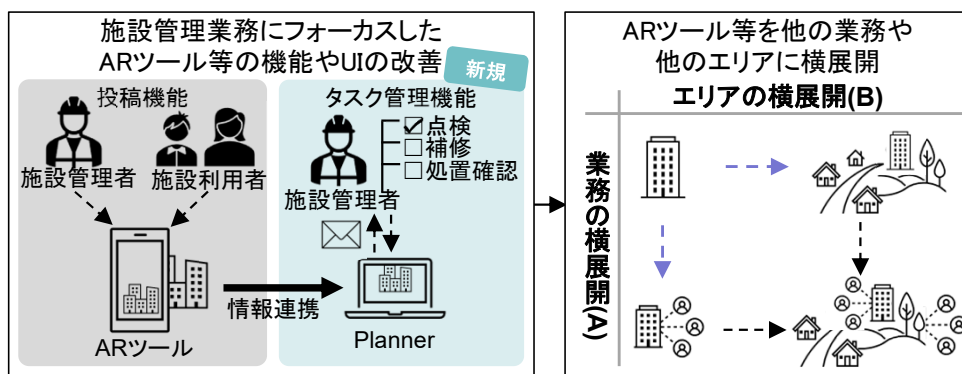
3種・1業務(R2)⇒10種・10業務(R7)

■実証実験の概要・目的

(1)情報集約・通知機能の構築による施設管理業務の高度化・効率化:タスク管理機能やデータ分析に有用なデータベース(DB)を新たにARツールに具備、またはARツールと機能連携して、施設の正常稼働を維持する手法の更なる高度化・効率化を目指した実証実験を実施。

(2)大田区内へのソリューション横展開による社会課題の解決:横展開先にて想定される利用者によるARツール等の利用を通じた検証等を実施し、横展開先等が抱える課題の解決に貢献することを目指した実証実験を実施。

■実証実験の内容



(1)情報集約・通知機能の構築による施設管理業務の高度化・効率化

- 令和5年度実証の結果を基に、タスク管理機能やデータ分析用DB等のARツール等への機能追加等を実施
- 施設管理業務へのARツール等の本格導入に向けた、各種機能や課題解決効果等の有用性を検証

(2)大田区内へのソリューション横展開による社会課題の解決

- ユースケース及びエリアの横展開を実施し、ARツール等の有用性、及び3Dモデル構築プロセス・人工を検証

(A)ユースケースの横展開

HICityにおけるイベント運営業務

(B)エリア・場所の横展開

大田区産業プラザPiOにおける施設管理業務(意見集約・施設管理)

■実証実験で得られた成果・知見

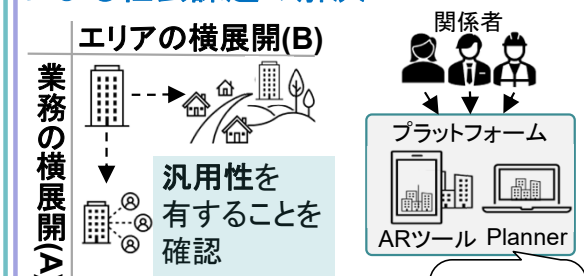
(1)情報集約・通知機能の構築による施設管理業務の高度化・効率化

施設管理業務(引継ぎ・タスク管理)のプロセス数削減と業務効率化を実現。

現行	本実証
✓記録	✓記録
✓記録	✓記録
✓引継ぎ	✓引継ぎ
✓タスク管理	✓タスク管理

・DBには、異状症状等のデータセットとデータ分析の補助機能の2種の要件充足が必要となることを確認。

(2)大田区内へのソリューション横展開による社会課題の解決



- 3Dモデル等の構築に係る論点を示したチャートを整備。
 - 関係者を含めた管理業務の効率化に資することが見込まれた。
- 実現に向け通知頻度やツールの視認性の改善が必要

■今後の予定

実施項目	2023年度	2024年度	2025年度
ARコンテンツ開発・実証・実装	ARアプリによる施設管理高度化 ARアプリ大田区他地域展開	■ARツールの構築 ■基本機能の有用性の調査 ■タスク管理機能の構築 ■ARツール等の有用性の調査 ■ARツール等の横展開有用性の調査 ■横展開に必要な機能の調査	■ARを活用した施設管理ツールの実装(一部) ■横展開に必要な機能の拡充
データを活用したエリアマネジメント	人流データ可視化 データ活用によるエリアマネ施策	■建物インフラ活用検証 ■建物インフラ活用検証	■安心・安全なまちづくりサービス検証

※本事業対応事項 次年度以降対応事項